

事務事業チェックシート

事務事業No 436 事業名 まちなか魅力創出事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	1	中心市街地の魅力向上
施策	1	中心市街地の魅力向上
取組方針	2	賑わいの創出

事業種別	継続	
事業期間	H19 ~	
事業実施の根拠法令		
関連個別計画	和歌山市中心市街地活性化基本計画(H23年度終了)	
担当課・担当課長 (Tel)	商工振興課	清水 出(435-1233)
関連課		

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		商工費	
	項		商工費	
	目		まちづくり推進費	
	大事業		まちづくり推進事業	
事項		まちなか魅力創出事業		

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的 (「誰・何」をどういう状態にする) ための事業か) まちなかで民間と連携した誘客性の高いイベント等を開催することで、まちなかの魅力を高め、観光客や住民が歩いて楽しめるようにする。	事業内容 ・JR和歌山駅周辺や市堀川周辺等でイルミネーションを実施する。 ・賑わいを創出していくため、まちなかで本市の魅力を発信するイベントを実施する。 ・まちなかで大学や商店街等を行政が連携し多彩な活動を行う「みんなの学校」の運営主体であるまちづくり連携事業運営委員会に交付金を交付する。 ・商店街にある公衆便所の維持管理等				
	実施内容	平成26年度 ・わあーっと！手作り市場事業に交付金を交付。 ・わかちか広場でイルミネーションを実施する。 ・まちなか魅力発見マップを作成する事業者に交付金を交付。	平成27年度 ・わあーっと！手作り市場事業に交付金を交付。 ・JR和歌山駅周辺・わかちか広場でイルミネーションを実施する。 ・まちなか魅力発見マップを作成する事業者に交付金を交付。また、マップを増刷し、国体関係者等に配布する。 ・京橋周辺で昔の河岸商を再現したイベントを実施し、まちなかの魅力を発信する。 ・夜間景観の演出方法や商業活性化につなげる方策等についての計画を策定する。	平成28年度 ・わあーっと！手作り市場事業に交付金を交付。 ・まちなかの各地でイルミネーションを実施する。 ・京橋周辺で昔の河岸商を再現したイベントを実施し、まちなかの魅力を発信する。 ・まちなかを歩行者天国にし、地場産品の販売を行い、消費喚起を図る。	平成29年度 ・まちなかの各地でイルミネーションを実施する。 ・京橋周辺で昔の河岸商を再現したイベントを開催し、まちなかの魅力を発信する。 ・まちづくり連携拠点(まちなか交流スペース「みんなの学校」)の運営	平成30年度 ・まちなかの各地でイルミネーションを実施する。 ・まちなかで各種イベントを開催し、まちなかの魅力を発信する。 ・まちづくり連携拠点(まちなか交流スペース「みんなの学校」)の運営

2 事業コスト

事業費等 (千円)	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	2,100	2,080	1,947	40,893	32,227	31,571	32,151		26,743	
伸び率 (%)	-	-	▲7.3%	1866.0%	1555.2%	▲22.8%	▲0.2%	▲100.0%	▲16.8%	-
人件費										
正規職員	3,343	4,987	4,987	6,862	4,987	7,068	8,078		8,078	
正規職員以外										
小計	3,343	4,987	4,987		5,087	7,068	8,078		8,078	
国庫支出金				36,031		17,500				2,725
県支出金										
市債										
その他					32	32	390		180	
一般財源 (税等)	2,100	2,085	1,947	4,862	14,695	12,751	31,761		23,838	
所要人数 (人)										
正規職員	0.44	0.67	0.67	0.92	0.67	0.89	1.02		1.02	
正規職員以外										
主な予算内訳	イルミネーション装飾委託料 6,479千円、和歌山城下・まちなか河岸開催 8,408千円、まちづくり連携事業交付金 13,145千円 等									

3 目標及び実績

指標名	単位	目標値	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標 まちなか交流スペース「みんなの学校」イベント回数	回	目標値	60	60	60	60	60
		実績値	50	31	56		
		達成度 (%)	83.0%	52.0%	93.3%		
成果指標 まちなか交流スペース「みんなの学校」来場者数	人	目標値	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000
		実績値	26,619	42,009	54,061		
		達成度 (%)	177.0%	280.0%	360.0%		

4 事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)		達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない		見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イルミネーションや各種イベントの開催は、まちなかの交流人口の増加や賑わいの創出に寄与している。</li> <li>・みんなの学校が開催するイベントは回数を重ねることにより定着しつつあり、商店街と共催するなど広がりを見せているとともに来場者も増加している。</li> </ul>
見直し・改善内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コスト投入の縮小を図るため、行政主体のイベントから民間主体のイベント開催への移行を検討していく。</li> <li>・みんなの学校について、市民や学生のまちづくり活動の拠点と賑わい創出のため引き続き事業を実施する。</li> </ul>